

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 114 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 114 回 : 2023 年 4 月 24 日 (月) 10:00~11:30

2. 場所 Web 開催 (Webex)

3. 出席者

(出席委員) 牟田主査, 桐本副主査, 橋本幹事, 西野, 岩谷, 喜多, 竹次, 高橋 (拓),
池田, 丹野, 三橋, 塩田, 小森 (13 名)
(常時参加者) 濱口, 不破, 寺島 (3 名)
(委員候補) 香川委員候補

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-114-1 第 113 回レベル 1 PRA 分科会議事録

P4SC-114-2 人事について

P4SC-114-3 パラメータ推定に関する指針改訂の方向性案

P4SC-114-4 レベル 1PRA 分科会の今後の運営体制案

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 13 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また, 配布された資料が確認された。

(2) 前回議事録確認

資料 P4SC-114-1 により, 前回分科会の議事録の確認を行った。

(3) 人事について

資料 P4SC-114-2 により, 橋本 (望) 委員 (四国電力) の退任が報告された。また, 香川
委員候補 (四国電力) が委員に承認された。

(4) パラメータ推定標準の改定要否検討の論点について

資料 P4SC-114-3 により, 改定期間となっているパラメータ推定標準の改定に向けた論点
について報告があった。主な議論は次のとおり。今回議論を踏まえて論点整理を行い, 次回
分科会での審議とする。

- ・標準の基準・指針化の流れとなっているので、パラメータ推定標準も今回改定する方向になるのではないかと。
- ・上部委員会への報告は、改定要否の分科会判断と要の場合には改定のポイントを示すことになる。
- ・パラメータ推定標準は仕様規定部分を担うことになるので、規定のあり方・詳細度等について再整理が必要。その上で、技術レポート（ハンドブック）などが適当となる部分の切り分けなどを検討していくことが考えられる。
- ・基準・指針と整合するよう構成・章立てなども再整理する必要がある。
- ・標準の基準・指針化の観点からは、パラメータ推定標準部分を内的事象 L1PRA 指針の追補として発行することも考えられる。この場合、他の標準からのパラメータ推定標準の参照具合などを確認しておくことが望まれる。
- ・前回改定から時間も経過していることから、文献サーベイを実施し新知見についても調査しておくことが考えられる。

(5) 今後の分科会運営について

資料 P4SC-114-4 により、今後の分科会運営に関する体制案が示された。これに基づき、今後の運営体制の具体化をまずは分科会三役で調整することとなった。

次回分科会は、7月5日 PM を第一候補とし、同6日 PM を第二候補とする。

以上